

ポジウム)

- 5) 龍村俊樹, 山口敏之, 辻本 優, 小山信二, 東出慎治, 美濃一博, 杉山茂樹, 三崎拓郎: 転移性肺腫瘍外科治療成績の検討. 第21回日本外科系連合学会学術集会, 1996, 6, 東京. (ワークショップ)
- 6) 龍村俊樹, 森 明弘, 佐藤博文, 鈴木 衛, 笠島茂, 孫 傑, 鏡森定信: 鈍的胸部外傷の検討. 第24回日本救急医学会総会, 1996, 10, 横浜.
- 7) 龍村俊樹, 津田基晴, 山口敏之, 杉山茂樹, 小山信二, 美濃一博, 三崎拓郎: 胸骨柄永久気管支瘻造設術の1例. 第58回日本臨床外科医学会総会, 1996, 10, 京都. (ビデオ)

輸 血 部

部 長 (兼任)	渡 邊 明 治
副 部 長	樋 口 清 博
主任臨床検査技師	西 野 主 眞
臨床検査技師	道 野 淳 子
臨床検査技師	多葉田 祥 代

◆ 著 書

- 1) 樋口清博, 渡辺明治: 劇症肝炎. 「改訂版 救急医療の臨床」龍村俊樹編著, 582-588, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.
- 2) 康山俊学, 樋口清博, 渡辺明治: 肝性昏睡. 「改訂版 救急医療の臨床」龍村俊樹編著, 589-598, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.
- 3) 樋口清博: 食中毒. 「改訂版 救急医療の臨床」龍村俊樹編著, 819-825, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.
- 4) 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明治: 治療における栄養と免疫—栄養薬理の立場から (dietary immunomodulation). 「肝疾患. 栄養免疫学」渡辺明治編, 208-215, 医歯薬出版, 東京, 1996.
- 5) 清水幸裕, 菓子井良郎, 樋口清博, 渡辺明治: PBCにおけるT cell repertoire. 「自己免疫性肝疾患—その病態と治療」西岡幹夫, 井上恭一編, 158-164, 新興医学出版社, 東京, 1996.
- 6) 安村 敏, 新敷吉成, 樋口清博, 渡辺明治: Lac Z遺伝子導入細胞を用いた肝癌転移メカニズムの解明と免疫治療. 「「肝癌再発のBiology」肝と遺伝子'96」小俣政男編, 88-100, 1996.

◆ 原 著

- 1) Hioki O., Minemura M., Shimizu Y., Kashii Y., Nishimori H., Takahara T., Higuchi K., Yoshitake Y., Nishikawa K., and Watanabe A.: Expression and localization of basic fibroblast growth factor (bFGF) in the repair process of rat liver injury. J. Hepatol., 24: 217-224, 1996.

◆ 症例報告

- 1) 斎藤清二, 樋口清博, 渡辺明治: 生薬を含む民間漢方薬により高度の血小板減少を繰り返した1例, 診断と治療 84 Suppl.: 868, 1996.
- 2) 安村 敏, 樋口清博, 沖田英明, 愛場信康, 土田敏博, 清水幸裕, 南部修二, 高原照美, 渡辺明治, 樋本尚志, 西岡幹夫: 甲状腺機能亢進症を伴った自己免疫性肝炎IIaの1例. Minophagen Med. Rev. 41: 229-34, 1996.
- 3) 北啓一朗, 斎藤清二, 土田敏博, 清水幸裕, 南部

修二, 樋口清博, 高原照美, 渡辺明治, 小泉富美朝: 膵原発ガストリノーマの多発性肝転移と肝細胞癌が併存した1例. 日本消化器病学会雑誌93: 377-381, 1996

◆ 総 説

- 1) 渡辺明治, 樋口清博, 清水幸裕, 近藤康得, 郡英明: イムノカルによる慢性肝炎の栄養薬理学的治療を目指してーリンパ球内グルタチオン濃度と細胞性免疫. *Pharma Med.* 14: 219-230, 1996.
- 2) 樋口清博, 渡辺明治: <肝炎ウイルス臨床の進歩>劇症肝炎のメカニズムと治療対策. *総合臨床*45: 2533-2538, 1996.
- 3) 土田敏博, 日置 将, 矢田 豊, 原田雷太郎, 安村 敏, 愛場信康, 清水幸裕, 南部修二, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 「劇症肝炎をめぐる新しい考えかた」. *消化器科* 22: 713-719, 1996.

◆ 学会報告

- 1) Nambu S., Takahara T., Higuchi K., and Watanabe A.: Activity of matrix metaroproteinase 2 in human hepatocellular carcinoma. (Selected as a Poster Review Session) American Association for the Study of Liver Diseases, 1996, 11, Chicago.
- 2) Aiba N., Watanabe A., Morioka J., Orihara T., Yata Y., Okada K., Furui K., Nambu S., and Miyagiwa M.: A new classification of the portal-systemic shunt which causes non-cirrhotic hepatic encephalopathy. 10th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology, 1996, 9, Yokohama.
- 3) Yata Y., Takahara T., Furui K., Zhang LP., Tsuchida T., and Watanabe A.: Expression of Matrix Metalloproteinase-1 (MMP-1) and Tissue Inhibitor of Metalloproteinase-1 (TIMP-1) in Liver Injury. 10th Asian-Pacific Congress of gastroenterology (APCGE), 1996, 9, Yokohama.
- 4) Zhang LP., Takahara T., Furui K., and Watanabe A.: Immunoelectron microscopic study of caldesmon human liver.
- 5) 愛場信康, 新敷吉成, 清水幸裕, 加藤 勤, 原田雷太郎, 土田敏博, 南部修二, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 造血器腫瘍例における化学療法に伴うウイルス肝炎重症化とその対策. 第22回日本急性肝不全研究会, シンポジウム, 1996, 4, 神戸.
- 6) 高原照美, 古井 啓, 矢田 豊, 張 立平, 舟木淳, 伊藤博行, 佐藤 博, 渡辺明治: 肝線維化過程における各種マトリックスメタロプロティナーゼ

(MMP)の肝組織内発現の検討. 第32回日本肝臓学会総会, 1996, 4, 神戸.

- 7) 清水幸裕, 岡田和彦, 菓子井良郎, 西森 弘, 宮元芽久美, 樋口清博, 渡辺明治: 各種肝疾患においてcostimulatory分子, B7-1とB7-2, の肝内発現様式の違いについて. 第32回日本肝臓学会総会, 1996, 4, 神戸.
- 8) 樋口清博, 渡辺明治: 抗LKM1抗体, 抗SLA抗体, 抗平滑筋(アクチン)抗体からみた自己免疫性肝炎の診断ーC型慢性肝炎との対比. 第32回日本肝臓学会総会, パネルディスカッション, 1996, 4, 神戸.
- 9) 土田敏博, 芳尾幸松, 新敷吉成, 安村 敏, 矢田豊, 愛場信康, 清水幸裕, 南部修二, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: SV-40 large T抗原をトランスフェクトした株化ヒト胎児肝細胞による可溶性TNF- α 受容体の産生とその制御. 第32回日本肝臓学会総会, 1996, 4, 神戸.
- 10) 清水幸裕, 岡田和彦, 菓子井良郎, 宮元芽久美, 新敷吉成, 安村 敏, 樋口清博, 渡辺明治: Interleukin-10によるヒト肝癌細胞B7-1分子発現の制御とその意義について. 第32回日本肝臓学会総会, 1996, 4, 神戸.
- 11) 南部修二, 高原照美, 新敷吉成, 佐伯美雪, 樋口清博, 渡辺明治: ヒト肝細胞癌組織における活性型MMP-2およびMMP-9の検討. 第32回日本肝臓学会総会, 1996, 4, 神戸.
- 12) 新敷吉成, 安村 敏, 樋口清博, 岡田和彦, 清水幸裕, 南部修二, 渡辺明治: マウス同系肝癌細胞を用いたTNF誘導体(F4614)の抗腫瘍効果の検討. 第32回日本肝臓学会総会, ポスター, 1996, 4, 神戸.
- 13) 矢田 豊, 高原照美, 古井 啓, 張 立平, 土田敏博, 渡辺明治: 肝障害モデルおよび慢性肝疾患組織におけるTIMP-1の遺伝子発現の検討. 第32回日本肝臓学会総会, 1996, 4, 神戸.
- 14) 宮元 歩, 若林泰文, 樋口清博, 渡辺明治, 沖田美佐子: 肝硬変例にみられる胃粘膜リン脂質構成脂肪酸の異常とその是正. 第19回日本栄養アセスメント研究会, 1996, 5, 久留米.
- 15) 矢田 豊, 新敷吉成, 土田敏博, 安村 敏, 古井 啓, 南部修二, 高原照美, 渡辺明治: 正常ヒト胎児肝細胞株(NFL/T)におけるTNF- α 受容体の発現とその意義. 第3回肝細胞研究会, 1996, 6, 広島.
- 16) 原田雷太郎, 南部修二, 新敷吉成, 安村 敏, 愛場信康, 岡田和彦, 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明

治：5年以上無再発生存の肝細胞癌の2例。第32回日本肝癌研究会学術大会，1996，6，大阪。

- 17) 品川和子，南部修二，原田雷太郎，折原正周，安村 敏，愛場信康，岡田和彦，高原照美，樋口清博，齊藤清二，渡辺明治：消化管出血で発症した比較的若年者C型肝炎の2例。第170回日本内科学会北陸地方会，1996，9，福井。
- 18) 岡田和彦，渡辺明治，樋口清博，近藤康得，郡英明：乳清蛋白（イムノカル）による慢性肝炎の栄養薬理的治療を目指して。第18回日本臨床栄養学会総会，1996，10，仙台。
- 19) 道野淳子，多葉田祥代，西野主真，樋口清博，古井 啓，渡辺明治：マイクロプレートを用いた自動血液型判定システムの開発。第14回日本輸血学会北陸支部総会，1996，10，富山。
- 20) 多葉田祥代，渡辺好美，道野淳子，西野主真，樋口清博，古井 啓，渡辺明治，深松順一，石田達樹，林 隆一：当院における輸血管理システムの現況—第2報—。第14回日本輸血学会北陸支部総会，1996，10，富山。
- 21) 原田雷太郎，愛場信康，桑原芳弘，北 啓一朗，南部修二，高原照美，樋口清博，齋藤清二，渡辺明治：B型慢性肝疾患における HBc抗原の肝細胞内局在とpre-C変異のおよぼす影響について。第31回日本肝臓学会西部会，1996，11，四日市。
- 22) 河相 覚，真野鋭志，桑原芳弘，沖田英明，樋口清博，渡辺明治：肝性脳症に関する呼気生化学的研究（1）—呼気中H₂とCH₄の同時測定による二糖類代謝の検討。第31回日本肝臓病学会西部会，1996，11，三重。

◆ その他

- 1) 西野主真：輸血業務のシステム化。Advance Transfusion シンポジウム in 徳島96，1996，11，徳島。

集 中 治 療 部

部	長	伊 藤 祐 輔
講	師	山 崎 光 章
助	手	鈴 木

◆ 著 書

- 1) 鈴木 衛，伊藤祐輔，横川雅康，山本雅巳，三崎拓郎，石澤 伸，若木邦彦：間歇性跛行から急速に壊疽へ進行した下腿動脈閉塞の1例。「切迫」壊疽—救肢の臨床—草場 昭監修，122-124，へるす出版，東京，1996。

◆ 原 著

- 1) 中丸勝人，佐藤根敏彦，伊藤祐輔，山崎光章，畠山 登：低濃度乾燥ヘパリン加採血器具の検討。ICUとCCU，20：407-413，1996。
- 2) 渋谷伸子，樋口昭子，畠山 登，山崎光章，伊藤祐輔，百瀬弥寿徳：イヌ心筋単離細胞の収縮反応，活動電位およびCa²⁺電流に及ぼすプロポフォルの影響。麻酔，45：407-414，1996。

◆ 学会発表

- 1) 鈴木 衛，伊藤祐輔，横川雅康，三崎拓郎：最近経験した大動脈炎症候群の2手術例。第10回心臓血管ウインターセミナー，1996，1，岩手。
- 2) 鈴木 衛，伊藤祐輔，横川雅康，山本雅巳，中島邦喜，三崎拓郎：破裂性腹部大動脈瘤術後にMNMS，虚血性大腸炎を合併した1治療例。第233回北陸外科学会，1996，2，金沢。
- 3) 鈴木 衛，横川雅康，三崎拓郎，山本雅巳，中島邦喜：腹部大動脈・腸骨動脈領域へのシールドグラフト使用症例86例の検討。第26回日本心臓血管外科学会学術総会，1996，2，京都。
- 4) 鈴木 衛，湖東慶樹，横川雅康，津田基晴，三崎拓郎，松井一裕，石澤 伸，若木邦彦：特発性上腸間膜動脈解離3例の経験。第26回日本腹部救急医学会総会，1996，3，大垣。
- 5) 渋谷伸子，畠山 登，山崎光章，伊藤祐輔：ブピパカインの心筋抑制に対するアムリノンの効果—イソプロテレノールとの比較—。第43回日本麻酔学会総会，1996，3，岡山。
- 6) Yamazaki M., Stekiel T. A., Stekiel W. J., Bosnjak Z. J., Kampine J. P. : Effects of isoflurane on in situ vascular smooth muscle transmembrane potentials (Em) in small vessels of spontaneously hypertensive rats (SHR). Experimental Biology 96 TM, 1996, 4, Washington D.C. USA.